



平成 20 年 2 月 25 日

各 位

会 社 名 株式会社三栄コーポレーション  
代表者名 代表取締役社長 水谷 裕之  
(JASDAQ・コード番号 8119)  
問合せ先 財 務 部 長 樋 口 功  
T E L (03) 3847-3500

### 連結業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向を踏まえ、平成 19 年 11 月 14 日の中間決算発表時に公表しました平成 20 年 3 月期(平成 19 年 4 月 1 日～平成 20 年 3 月 31 日)の通期業績予想(連結)を下記のとおり修正しましたのでお知らせいたします。

#### 記

#### 1. 連結業績予想数値の修正

平成 20 年 3 月期通期業績予想の修正(平成 19 年 4 月 1 日～平成 20 年 3 月 31 日)

(単位:百万円)

	売 上 高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	33,000	600	590	200
今回修正予想(B)	33,800	550	500	220
増減額(B-A)	800	△50	△90	20
増減率(%)	2.4%	△8.3%	△15.3%	10.0%
(ご参考) 前期実績 平成 19 年 3 月期(通期)	33,527	798	954	537

#### 2. 連結業績予想修正の理由

通期見通しにつきましては、売上高は前回予想(平成 19 年 11 月 14 日公表、以下同じ)に比べ増加する見込みです。これは主に、海外において台湾子会社からの北米および欧州向け家具の輸出が予想以上に伸長したことや国内においても大手専門店向けの小物用品および家庭用収納用品の売上が堅調に推移しており前回予想を上回る見込みです。

一方、利益面におきましては、海外において三發電器製造廠有限公司の原材料高による仕入コストが予想以上に上昇したことや同社の滞留部品在庫の処分を進めました。また、国内においても利益率の高い理美容家電の販売が出遅れたこともあり、営業利益および経常利益は前回予想を下回る見込みとなりました。

なお、本日公表の「子会社に係る固定資産の譲渡及び特別利益の発生に関するお知らせ」のとおり、当社の連結子会社である三栄洋行有限公司の不動産を売却することを決定し、当該固定資産の譲渡益は

約 5 億 4 千 6 百万円となる見込みですが、当社の持分 80%相当額約 4 億 3 千 6 百万円を平成 20 年 3 月期連結決算において特別利益に計上いたしますので、当期純利益につきましては前回予想を上回るものと見込んでおります。

また、個別の通期見通しにつきましては、現時点において前回の予想どおり推移しておりますので修正しておりません。

※上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想値と異なる可能性があります。

以上